

## 第 22 回人文学・社会科学特別委員会における主な御意見

### （国際ネットワーク構築と国際発信の重要性について）

- 研究の国際化を考える際、日本が世界の中心である分野と、例えば欧米が中心でそこに日本が食い込んでいかねばならない分野とでは、そもそも戦略も問題点も大きく異なるということを意識することが必要である。
- 海外の国文学研究者や能楽研究者と対等な立場でリスペクトし合うためには、まずこちらが海外に向けて正確かつ最新の情報を発信することが重要であり、また、同じ土俵に立って議論できるような場をつくる必要がある。
- 海外の研究者と国際的なネットワークを形成する際には、組織間のつながりよりも組織に所属する個々人同士のつながりが重要である。
- 日本についての研究を実施する場合、国内外の研究者間で使用される言語が日本語ということであれば、日本の研究者にとっても国際化のハードルが格段に下がると思う。そもそも翻訳しようとしてもできない言葉も多数あると思われる。こうした取組は、日本研究分野の国際化の仕方・在り方として1つのモデルケースになると思う。
- 日本が世界の中心である分野の研究成果の国際発信にあたっては、英訳の解説書や辞書を作る時に、背景情報をどの程度盛り込むのかの見極めが難しい。海外の人と日本人とでは素地が違うため、説明をどの程度入れるかの検討が必要である。

### （「これまでの主な意見を踏まえた論点整理」について）

- 人文学・社会科学の発信力や研究の評価等がどのようなものなのかは SNS 等でも色々と議論されているところ、今回の論点整理は重要かつ社会的にも関心をもたれているものであり、ポイントをまとめたものをつくりプレスリリースなどで発信するとよいのではないか。
- 共同研究のプロセスの可視化を検討していく必要があるのではないか。人文学では、1人で資料を読み分析することが重要である分野がたくさんあるのは理解しているが、具体的な課題解決のためにはやはり共同研究というのは重要である。成功した共同研究プロジェクトがなぜ成功しているのか、他の研究者もこうしたプロセスの部分から学ぶことができると思う。また、オープンサイエンスの観点で言うと、資料や研究成果のデータ化は進んでいるが、当該データがどのように使用され、どのようなディスカッションが行われてきたのか、といった研究プロセスをきちんと残していくことが、データの信

頼性の担保のためには必要であり、今後の大きな方向性として重要である。

- 国際共同研究において、大学院生が参画することの重要性の議論があったが、国際プロジェクトでは、活躍しているのは大体が大学院生であり、改めてこの点を意識することは重要である。一方で、データの利活用に関して、現状、例えば政府統計等のデータ利用が大学院生単独では難しくなっているため、このような制約を取り除き、博士課程の学生が国際的な共同研究から成果を出せるようになると良いと思う。
- 研究者への動機づけの仕組みとして、例えば KPI を立ててインセンティブを設定することや、ベストプラクティスを提供するといったことが考えられるが、こうした仕組みはそれぞれの施策によって異なるものであり、こうした点をもう少しきちんと整理すると、今後の実際の施策実現に向けて役立つと思う。
- まとめ方として、「人材」の観点あまり前面に出てきていないようなので、「人材」に関する項目を立てたらよいのではないかと。人文系のデジタル化については、世代間のギャップが他の分野に比して激しく、若手研究者がどのようにしてキャリアを積むかといった問題ももう少し可視化すればよいのではないかと。また、今後のデジタル化に関してエンジニア等の技術者・支援者の存在も大事になってくると思われ、この点についても言及が必要だと思ふ。
- 文理融合の取組を始める際、元々の分野の研究者が新たな文理融合の芽をちゃんと評価してくれないという問題がある。しかし、無理をして評価される（文系の好みに合わせた）融合をする必要はなく、あまり厳しく捉えずに、色々な分野でそれぞれが有効活用していく形でよいのではないかと。
- 人文学・社会科学の学知が提供できるものは時代の中で様々あるが、人社の現代的意義や役割としては、人間が人間として生きていくためにとっても重要な「ワクワク・ドキドキ」を提供することであると思う。その点が現在の論点整理の現代的役割の中で記載されていないので、この点をその後の議論の部分に繋げていくことも含め書き込んでいければよいと思う。
- 人文学・社会科学の研究者自身が、人社の価値をしっかりと考える必要があり、その価値を表現できるようにする必要があると思う。これについて、人社の現代的役割の記述に「想像力」という言葉を入れるとよいと思う。人には人間や社会に関する「想像力」を広げ、深めるという役割があると思う。大きな変動期にある現代社会において、我々自身が社会をどうしたいのか、人間の生き方そのものをどうしていきたいのかを考えるときに、やはり人材が非常に大きな役割を果たすと思う。